

子実とうもろこしと水稻との3輪作のブロックローテーションを目指す

富長生産組合

宮城県大崎市古川



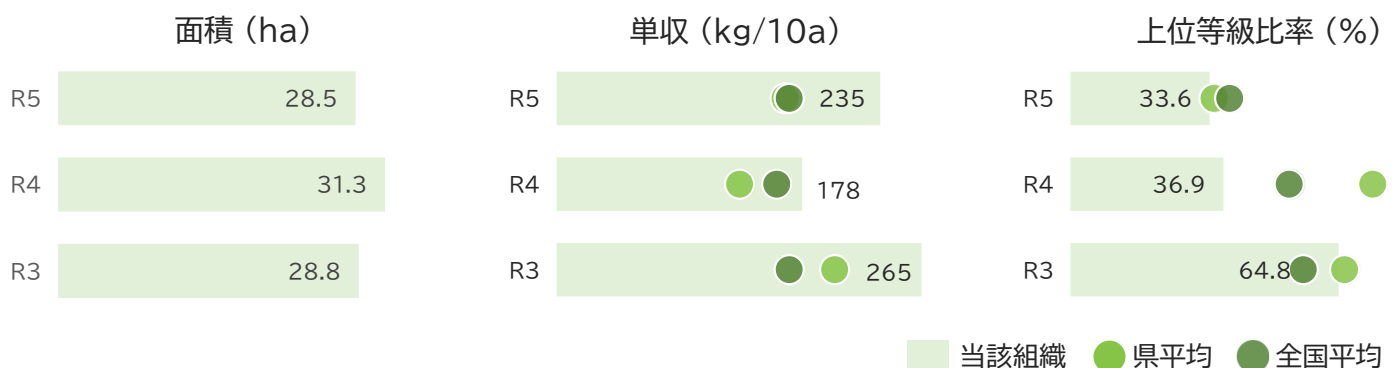
設立年月 平成13年5月

基幹作物 大豆28.5ha(ミヤギシロメ、きぬさやか)(R5)子実とうもろこし5.2ha

特 徴 平成9年度に富長西生産組合を設立、平成13年に富長東営農組合と合併し設立。
令和4年から子実とうもろこしを作付けし水稻と3輪作体系を目指す。

大豆生産状況

単収は県・全国平均平均を大きく上回る



栽培上の特色

- 令和4年から大豆作の前に子実とうもろこしを作付けすることで、排水対策と地力回復、難防除雑草の軽減を目指す。(子実とうもろこし→大豆→水稻)
- 播種・収穫については、地域のオペレーター組合を活用し、安定的な技術により作業機の負担軽減・収穫ロスとならないように取り組んでいる。
- 令和6年度からバーチカルハロー、真空播種機をJAからリースし、播種精度の確保と作業の効率化、収量向上を図る。

経営上の特色

- 近年は「きぬさやか」の要望があり、「ミヤギシロメ」と2品種を作付けしている。
- ブロックローテーション、新たな機械作業体系を取り入れ3輪作(大豆、子実とうもろこし、水稻乾田直播)に取組み、省力化を図っていく。

販売・消費拡大への取組

- 「タチナガハ」から「タンレイ」現在は「ミヤギシロメ」と「きぬさやか」を作付けし、時々の需要に応じて品種を選定している。

